



# 廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

平成29年  
9月8日  
第3号

2学期が始まりました。1年間の中で一番長い学期のスタートです。  
今月は、新学習指導要領の説明会も行われます。国の動向なども見ながら、移行措置への対応、学びの変革全県展開への対応について、計画的に準備を進めていきましょう。



## 「できないにとよみ、できることに目を向け、うまくいくことを増やす」



講演

大阪医科大学 LD センター  
顧問 竹田 契一 先生

8月17日（木）、さくらびあ小ホールでプロGRESS研修（教職員夏季研修）を開催しました。今回のテーマは、「個の特性に応じた支援・指導について」でした。

このテーマに沿って、お二人の先生に普段から実践している支援・指導について、実践報告をしていただきました。そして、昨年度に引き続き、大阪医科大学LDセンター顧問竹田契一先生に講演していただきました。

実践報告、講演を聴いた先生方は、2学期からの取組に意欲を高めていました。

### 〔参加者の感想〕

- かつて担任した生徒を何人も思い浮かべた。あくせくと指導したことはあるが、彼らの気持ちに寄り添ったものではなかったと痛感した。若い先生たちに聞いてほしい内容だった。
- 発達障害の特性をしっかりと理解して接することの大切さを再認識した。
- お二人の実践はとても具体的でよく分かった。
- 保護者との信頼関係は、子どもの成長や子どもとの信頼関係につながる。
- 一人ひとりに向き合い、その子に合った取組をしていきたいと思った。

紙を額にあて、利き手で右から左に自分の名前を書きました。  
文字を視写することが難しい（目と手を協応させる力が弱い）子どもの困難さを体験しました。



実践報告

平良小学校 谷 恭子教諭（左）  
友和小学校 安藤 聡子教諭（右）

## 第3回廿日市市生徒会サミット開催！ ～誰もが安心できる学校をつくるために～

8月29日（火）、あいプラザの多目的ホールで、第3回廿日市市生徒会サミットを開催しました。

第3回は、1・2回のテーマにあった「いじめがない学校」から「安心できる学校」と視野を広げ、「誰もが安心できる学校をつくるために、私たちに何ができるか考えよう！」をテーマに、各中学校から参加した生徒会役員30名が、安心できる学校をつかっていくための行動目標を話し合いました。

この目標を各校に持ち帰り、さらに具体的な取組を進めてくれることに期待しています。



6つのグループで行動目標を考えました

### 行動目標の一例

安心できる学校をつくるために「授業では教え合い、協力する。」



各学校が取組を発表し、交流しました

### 〔サミットを参観された一般の方の感想〕

- 市内10校が集まるのは大変良いこと。いじめをなくすためにつながってください。
- 自分の事として考える姿に力強さを感じた。
- 皆さんのすごい取組に感動した。
- 行動目標をPTAにも伝えてほしい。

## 一人一人の顔を頭に浮かべ、小さな成功体験を積み重ねる指導を！

～平成29年度大竹市・廿日市市合同「学びの変革」推進協議会～

8月3日（木）、はつかいち市民大野図書館で大竹市・廿日市市合同「学びの変革」推進協議会を開催しました。大竹市、廿日市市各校の教務主任と研究主任を対象にした大規模な協議会でしたが、市や校種、学校規模などの違いなどを感じることなく、会場全体で目指すべきものが再確認できた会でした。



協議会では、広島県教育委員会義務教育指導課立田主任指導主事より「『主体的な学び』の実現に向けて」という題目で講話・演習があり、その中で「児童生徒に小さな成功体験を積み重ねさせることでも、主体的な学びにつながっていく」「通過率が90%だとしても、そこに入っていない10%の児童生徒をどう変えていくか」というような心に残る話を聞くことができました。

参加した先生は、本当に多くのことを感じ、考えた協議会でした。

### 【参加者の感想より】

- ・「課題発見・解決学習は楽しい」ということを、学校の先生たちに伝えたい。
- ・授業で勝負、わかる授業で生徒を変えるという意識を全教員がもてるように研修を進めたい。
- ・みんなで話をしてアイデアを出し合うことで考えが広がった。自校でもやっていきたい。
- ・教師という仕事について改めて考え直すことができました。誇りをもてた。

## 平和の大切さを痛感「夏の雲は忘れない」公演



画像はリハーサル時の様子です。

平和教育の一環として、原爆投下時の広島・長崎を題材にした女優による朗読劇が、8月8日（火）にさくらびあ大ホールで行われました。

七尾中学校の全生徒が朗読劇を鑑賞した他、市内小・中学生、高校生、保護者や各団体の方、420名余りが鑑賞しました。

女優と生徒による臨場感あふれる朗読に、「涙がこぼれそうだった。たくさんの人たちの声が、あの日のが聞こえた。」「原爆で亡くなった多くの人たちの思いをつなぎ、若い人たちが一生懸命に取り組んでいる姿に頼もしさを感じた。」などの感想をいただきました。

平和への思いを強くした1日でした。

出演した七尾中生徒の皆さん（敬省略）

〔出演〕大汐壮真、木原菜歩、高垣茉那、山下翔太郎、松長美歩、善岡麻央

〔影アナ〕角歩乃花、玉川愛衣

〔謝辞〕平見友菜 〔交流絵画〕檜山千桜子

## 「夏の雲は忘れない」公演

### 生徒代表謝辞



今日は、私たちにこのような平和について学ぶ機会をありがとうございました。私たちは小さい頃から、原爆のお話を讀んだり、歌を歌ったり、絵を見たりして様々な視点から、原爆について学んできました。何度も平和について考えてきました。

それでも、今日の皆さんの言葉に、私は新たな衝撃を受けました。とてつもなく胸に刺さる言葉がありました。とてつもなく胸に刺さる想いがありました。これはたった72年前に起こった本当の出来事だと、皆さんの言葉が、声が、私たちに訴えかけてきました。8月6日の悲劇を原爆の怖さを忘れてはいけなと心に刻みました。

しかし、とぎれそうになりながらも、平和は確かに繋がってきています。今、この時まで守られてきた平和を繋いでいくことが私たちの使命です。そのために今、自分達ができるのは平和について学び続けることだと私は思います。ヒロシマの記憶を薄れさせない。平和という繋がりを途切れさせない。これこそが私たちに任された役割だと気付くことができました。今日は本当にありがとうございました。

廿日市市立七尾中学校 生徒代表  
平見 友菜



## 「子ども起業塾」ががんばりました !!



蜂蜜入りカステラと氷菓入り飲料を売りました！

7月29日(土)のさいき水まつりに、さいき活動センター主催の第2期子ども起業塾に参加した**廿日市小学校の児童4名**が出店しました。子ども起業塾では、店づくりを体験することで、社会の仕組みやビジネスの方法を学びました。子どもたちは、原価計算もすべて自分たちで行いました。参加した児童は、  
「お客さんに喜んでもらえてよかった。」  
「お店の大変さも、嬉しさも分かった。」  
「お金の大切さが分かった。」  
など、感想を話していました。その後、決算報告、成果発表なども自分たちでやり切りました。

## 生徒指導 スキルアップ! ②

### 「かかわること②」

前は、「何はなくとも、まずかかわる!!」ということで、あいさつを通してかかわることの大切さを述べました。かかわるのであれば、褒めるにこしたことはありませんが、そうはうまくいかないのが現実です。ときには問題行動が発生し、指導をしなければならぬこともあるでしょう。そこで押さえてほしいポイントは・・・

かかわり方は3種類、「厳しさ」「優しさ」「楽しさ」!



スキルアップ ポイント!

「厳しさ」は規律指導には適しますがそれだけだと子供を萎縮させてしまい、「優しさ」はコーチングやカウンセリングには適しますがそれだけだと甘やかせてしまい、「楽しさ」はストレスマネジメントには適しますがそれだけだとけじめをなくさせてしまいます。集団づくり、生徒指導等で苦勞する原因として、これらのバランスがよくないことがあります。

1人の先生が「厳しさ」「優しさ」「楽しさ」を1人三役で、また先生方がチームとなって3人一役の役割分担をする等、3種類のかかわり方のバランスを意識しながら集団づくりや生徒指導に取り組んでみてはいかがでしょうか?

## 廿進!!『学びの変革』②

「学びの変革」のゴールイメージを簡単に表すとすれば、それは全ての子どもたちが「主体的に学ぼうとしている姿」です。

「主体的に学ぶ姿」とは、子どものどのような姿なのでしょう?自分の思う主体的に学ぶ子どもの姿と、隣の先生の思う主体的に学ぶ子どもの姿は同じなのでしょう?

ちょっと時間のあるときに、話してみたらいかがでしょうか。

さて、そんな「主体的な学び」を実現するために、日頃の授業改善のポイントについて紹介します。自身の授業の振り返りをしてみましょう。

- 児童生徒の学習意欲を喚起させるような導入の工夫が行われているか。
- 教師が話しすぎず、児童生徒の言語活動を充実させているか。
- 目標を達成させるために必要な協働的な学びの場を適切に設定しているか。
- 多様な考えを引き出す問の工夫が行われているか。
- 本時の目標に対応したまとめを自分の言葉で表現させているか。

## 教育委員会の仕事 ②

～教育総務課編～

前は、教育委員会の構成を紹介し、教育部(事務局)は3つの課に分かれていることをお伝えしました。今回は、その中の**教育総務課**について紹介します。

教育総務課は、教育委員会事務局全体の取りまとめを行っています。その他の具体的な仕事としては、重要な教育施策の調査・立案等の政策業務、教育委員会会議の運営、奨学金の貸付、教育施設の維持管理など教育行政に関することを幅広く行っています。

教育委員会会議は、毎月1回程度開催しており、様々な事項を審議しています。教育委員さんには学識経験者や保護者の代表として、各分野からのご意見をいただいています。(教育総務課連絡先: 30-9200)

9月1日教育委員会会議

